

山 ゆり

9 - 10 月号 No397 2021 年 9 月 1 日

初号発行: 1972 年 12 月 25 日

山ゆりの会

年会費 1000 円 (郵便口座 00230-2-42601)

〒242-0026 大和市草柳 1-3-201 草野正昭

Tel/Fax: 046-260-6515 メール: VZM03024@nifty.com

URL : <http://yamayuri.d.doou.jp/>

7 月月山行報告

■ 7 月 18 日 : ニノ宮—大磯照ヶ浜 東海道ウォーキング

参加者 : 稲田 小野寺 加藤 曾根 名須
川 黒羽 浜田 松田 草野 (9 名)

●二宮駅 9 時半集合、約一名の到着を待って 9 名で出発。二日前の梅雨明けで朝から真夏の日差し。南口の階段を降り駅前広場に出るとそこにガラスの兎を抱えた少女像が、——太平洋戦争終結直前の 1945 年 8 月 5 日、ここ二宮駅周辺には米軍艦載機の機銃掃射を受け、幾人かの尊い生命がその犠牲となりました。

この時、目の前で父を失った 12 歳の少女が、その悲しみを乗り越え、けなげに生き抜く姿を描いた戦争体験記「ガラスのうさぎ」(高木敏子さん著)は国民の心に深い感動を呼び起こし、戦争の悲惨さを強く印象づけま

した。少女が胸に抱えているのは、父の形見となったガラスのうさぎです。

以下は 2015 年朝日新聞に掲載された高木敏子さんの平和への思いを語った講演の抜粋です。

・「私の両親と 2 人の妹は、戦争で無残に命を奪われました。母と妹は東京大空襲で亡くなりましたが、お骨一つ見つかりませんでした。そんな死に方がこの世の中にあるのだから、悔しくてね。父は警防団の役員をしていて、母と妹と一緒に逃げられなかったことを悔やんだ。

その父も、終戦の 10 日前、神奈川県の大磯駅で機銃掃射に遭い、殺されました。江戸切り子の伝統工芸師だったんですよ。47 歳で、世が世ならたくさんの美しい作品を残していたでしょう。みんな戦争によって、志半ばで命を絶たれてしまった。70 年の時が経っても私は絶対に忘れることはできないし、この話をするときには胸が苦しくなります。——あんな死に方はもう二度と—— 戦後にできた憲法 9 条は、私にとって輝く太陽のようでした。



7/18: 東海道ウォーキング 城山公園

人々の命の犠牲の上に、日本は永久に戦争をしない国になった。これを、子どもや孫、孫の孫の世代にまで伝えなければ。それが「ガラスのうさぎ」に込めた願いです。

出版の翌年から始めた講演は1300回を超えました。兄からは「講演なんかするな」と言われたこともありました。私も62歳で「アミロイドーシス」という難病を患うなど、ずっと病気と闘っていました。だけど私は、回を重ねるうちに「戦争を語り継がなければ」という機運の高まりを感じたのです。本を読んだり、講演を聴いたりした人が、一人、また一人、「絶対に戦争はしない」という決意を新聞に投稿してくれました。

2000年には、一章ごとに難しい言葉の説明を書き加えた新版を出版しました。この前の年に、まだ小学生だった孫に「ガラスのうさぎ」を贈ったのですが、「難しい言葉がいっぱいある」と言われたんです。戦争を知る世代が減っていく中で、このままでは古典になってしまう。一人でも多く戦争をしない心を育てたいという一心でした。

いま、社会が間違った方向に流されているように思えます。もう一度立ち止まって、日本という国がこのままでいいのかどうか、考えてみてほしい。

危機感を抱いた若者たちが、国会の前で声を上げていますね。私はうれしかった。戦争の話をし続けてきて、やっと立ち上がってくれたんだと思いました。

私が最後に伝えておきたいのは、戦争を起こそうとするのも、起こさせないようにするのも、人の心なのだということ。粘り強く交渉し、譲るところは譲り、話し合い



で解決しなければ。戦争は人殺しですから、相手も自分も血を流す。その戦争を起こさせない心を、みんなで手をつなぎ、輪を広げて、守って行ってほしいのです。」(伊藤舞虹) =朝日新聞 2015年8月18日掲載

● 二宮から大磯ウォーキング

梅雨明けし暑さが予想される日曜日9名が集合、予定していた吾妻山をカットし二宮駅を9時45分スタート、駅前にあった「ガラスのウサギ」像は見逃してしまったが戦争中の悲しい出来事を伝えている。IOC関係者が広島、長崎を訪問するとのことだが全国に戦争の悲惨さを考えさせる場所が多くあることを忘れてはならないと思う。

さて一行はリーダーの案内に従いすこしでも日陰を求めながら国道1号を大磯方面へ、途中六所神社の木陰で一休み、海が近いめか心地よい風が吹いていて暑さは余り気にならなかった。大磯城山公園の展望台でかすかに見えた大島、伊豆半島、箱根の山々を眺めながら貸し切りのランチタイ

ム、手作りのパン、ジャム、果物などのご馳走を前にゆっくり過ごし再び照ヶ崎海岸を目指し歩き出す。

旧吉田茂邸、大隈重信邸の庭を見学、萱葺き屋根の嶋立庵は上から眺めただけで通過(食い気だけの人が多かったようで)、最終目的地のアオバトの飛来地照ヶ崎海岸へ。海岸には涼を求め多くの観光客が海水浴や磯遊びを楽しんでいた。

トビやカモメが舞っていたがまもなくするとアオバトラしき鳥(体は暗緑色、胸は明るい緑)が電線に止まり2羽~5羽と増え海岸に降りた鳥もいたがトビが現れるとあっという間に姿を消してしまった。

夜間は20キロ離れた丹沢山地で過ごし塩水を飲むため(ミネラル補給)に飛来してくるとのこと

15時30分頃2万歩以上歩き無事大磯駅に到着、お疲れ様でした。

(2日前の丹沢山の続き)

やっと高取山の山頂に着きラインを送った後手にヒルがいるのに気付かあわてて振り払うもなかなか取れず足元を見ると靴下が真っ赤両足にヒルが多数靴を脱ぎしっかり払ったつもりが念仏でもまだヒルが、その後弘法山、権現山電車の中でも1匹づつ散々な山歩きでした。(曾根 弘子)

●梅雨明け2日後の18日、二宮から大磯まで電車なら一駅5分足らずを、9名が所々で休み休み6時間掛けて歩きました。

街道沿いには、松並木や昔の東海道の宿場街を思わせる大きな門構えの家々が多く目に付きました。

城山公園の展望台では、眼下に海や緑の見える眺望とそよ風と木陰が汗の身体にや

さしいだけでなく、持ち寄った手作りジャムや食パンの他、マンゴー迄用意されたりリッチなランチタイムとなりました。

有名な吉田茂首相の邸宅の他にも伊藤博文(滄浪閣・工事中でした)、大隈重信と陸奥宗光(明治記念大磯庭園)等明治の元老達の旧邸を見学出来ました。

海水を飲みに来るアオバトが1000羽も集まると案内板に書かれていましたが、この日は水辺を楽しむ家族連れ等が多く、海に近付けない様子の鳩が電線で数羽待機していました。

カンカン照りの中、日陰の無い国道沿いを歩き、多めに用意した1.5Lの水も空になりました。(松田 雄二)

■6月20日:

開成町アジサイウォーキング

●開成町あじさいの里を歩く 犬も歩けば棒? 前日から途中の雨を覚悟したハイキングでしたが、終日快晴。少々暑いくらい。さすがにあじさいを売りにしているだけあって、田んぼの中を貫く道路の両側には整然と手入れされたあじさいの花が整然と植えられ、私達の目を楽しませてくれます。町内にはあちこちに水路が張り巡らされ勢いよく水が流れていました。あじさい道の両側の水田にもたっぷりと水が張られ、稲苗も青々と元気そうで、おそらく、昔から米も良く実り、豊かな農村地帯であったろうと想像できます。

途中、あしがり郷瀬戸屋敷という旧名主の立派な屋敷に立ち寄り、中を見学しましたが、その水車小屋の入り口で思わぬ張り紙を見つけました。

「米価三代暦」と表題がつけられた、米

一俵（60kg）当たりの生産者価格表！
なんと戊辰戦争のあった明治元年から平成15年までの、政府の米の買入れ価格の一覧表でした。（平成16年からは入札制度に変更）。当然パチリです。
家に帰って早速私の社会人一年生の年（昭和46年）の価格を見ました。8691円でした。一方その年の大卒平均初任給は4万3千円。それから32年、平

成15年、大卒初任給は20万2千円、4.7倍に上がりましたが、お米は13820円で1.6倍にしかなっていません。昭和60年、61年の18660円から下がり続けてきたのです。農家の跡継ぎがいなくなるのも当然だなあ、と感じた次第。

今回はどんなものに出会うのか楽しみで
す。（浜田 隆司）

■ 9月山行：9月19日（日） 箱根・千条の滝一浅間山 小雨決行 ㊟

奥多摩の予定でしたが休日の青梅線は混雑が予想されるため変更しました。

- ・コース：小涌谷駅-千条の滝-浅間山-箱根湯本（約7.5km）
- ・集合：箱根登山鉄道 箱根湯本発 8:39、8:52 に乗車—小涌谷駅 9:12、9:27 着
- ・持ち物：お弁当、雨具ほか

■ 10月予定：10月17日（日）：東海道ウオーキング 小雨決行 ㊟

7月の二宮から大磯の続きで二宮から国府津まで約9kmを歩きます。

- ・集合：二宮駅 朝9時30分
- ・持ち物：昼食弁当、雨具

あとがき

・山ゆりの後半の予定、コロナの状況が益々悪くなるばかりなので少し変更しました。家に引き込まらずに積極的に参加ください。・東京オリパラを開催反対の世論を無視して開催強行では政府がいくら外出自粛を言っても効果なし、心配した通りの感染爆発だ。緊急事態宣言は9月12日まで延長9月12日に解除になる保証は全くない。・山ゆりの皆さんワクチン2回接種終えてますね、接種2-3週間で体内にウイルスに対する抗体が作られて感染を防ぐことが出来ますが、今流行している感染力の強いデルタ株ではワクチン接種していても感染する「ブレースルー感染」が

0.1%程度あり、これまで通りマスクと手洗いが重要。・入院できず自宅療養中に亡くなる方も増えている。コロナ感染し入院できず自宅出産した妊産婦、出産後赤ちゃんは病院に搬送されたが、母親の顔も見ず乳を飲むこともできず亡くなってしまった。なんとも悲しい。この国はもう憲法で保障された生存権もないのだろうか。・安倍前首相の桜疑惑、検察審査会が検察の不起訴を不当とし起訴相当の議決、検察には今度こそ厳正が再捜査を望む。・カジノ反対の大物国会議員が乱立立候補した横浜市選、カジノ反対はもちろんコロナ対策を訴えた山中竹晴さん圧勝。（M.K）
・八月やガラスのうさぎの少女像